

ごみへらし、してる？

葉山発ゼロ・ウェイスト 楽しくへらすごみ通信

編集 ごみへらし隊 発行 葉山町環境課

葉山生まれの小学生。山で好奇心いっぱい。

でっぴりカネン：葉山の でっぴり可燃ごみ。今年こそは でっぴり脱出！

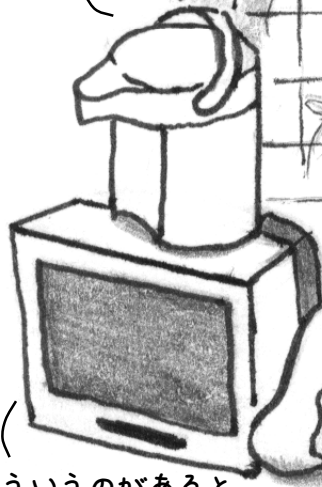


ほっそりカネン：でっぴり生ごみから開放されて今年もはればれと。

知らずに迷惑かけていませんか？

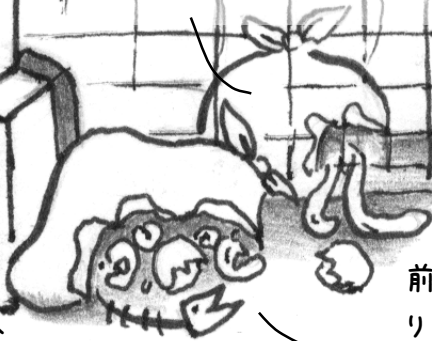
～どこかで困っている人がいます～

ステーションには捨てられない電気ポットやテレビ。これは不法投棄で処罰の対象です。

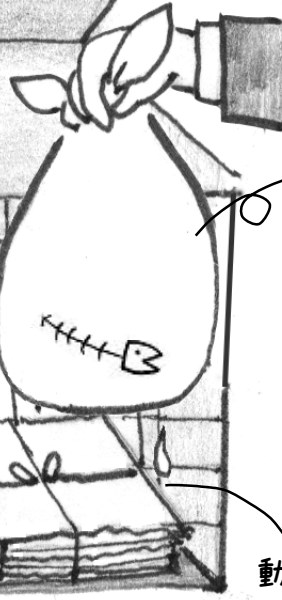


こういうのがあると、さらに不法投棄される。

ネット際の可燃ごみは、カラスに引きずりだされちゃうよ～



前日に出された生ごみ入りのごみ袋。動物に荒らされちゃって掃除が大変…



出勤途中の車からポイッ！

動物に荒される心配のない紙類は、外に置きましょう。

もう何年も掃除を続けているステーション近くの堀内Aさん



一番困るのは、前日に出されたごみをカラスが散らかすことです。注意の張り紙も無視されて…。「どうしてわかってくれないのだろう」と、とても悲しくて情けない気持ちになります。

当番制で円満に！ 長柄のTさん



うちのゴミステーションでは、家の前をステーションとして提供して下さっている方を除いたメンバーで1ヵ月交代の当番制で掃除をしています。家の前を提供して下さっている方に迷惑をかけないように掃除にはとても気を遣います。何か気づいたことがあった時には、張り紙などでコミュニケーションをとるようにしています。



日影茶屋も取り組んでいます。

葉山の老舗日本料理店「日影茶屋」の生ごみ処理機を見てきたワン！

堀内にある日影茶屋は、業務用の電動式生ごみ処理機を設置して、お店の生ごみを1日最大50kg処理しています。「生ごみ処理を始めたことで、水切りや分別をさらに意識するようになり、生ごみ自体が減りました」と、佐々木さん。生ごみからできた良質の堆肥は、「こだわりのエコ野菜」を作る近郊の農家に提供し、土と食べ物の循環を実現しています。生ごみ処理機を使うことで、生ごみを収集の時までためておかずすみ、機械から嫌なにおいもありません。とても気持ちよく使われている様子がよくわかりました。



日影茶屋の佐々木さん



処理機の中にはチップが。



ボランティアスタッフコラム

「吸い殻分別」-ごみは分別、この世は分別-

ぶんべつ

ぶんべつ

堀内
岡崎さん

現今、喫煙は少々不心得な習慣となりつつある。良き哉。

とは言え、私にはとうてい止められそうにない。外では吸わなくなったが、家では吸う。当然、吸い殻はごみとなるが、この扱いがやっかいだ。生ごみもそうだが、燃やすごみにこれを混ぜると、他のごみすべてが吸い殻化して、ヤニ臭く、灰まみれになってしまう。我が家では燃やすごみは月に1度出す程度なので、ゴミ箱のフタを開けるたびにヤニ臭や灰の飛散に悩まされることになる。

そこで吸い殻を分別し始めた。ごみ減量には分別が肝要だ。こうしておけば、燃やすごみを出す際に中身を再点検して、資源化できるものを救い出すことができる。そんな分別より禁煙が先でしょ？と言われればそれまでの話なのだが。



以前、タイで手に入れたかわいい素焼きの壺。吸い殻入れにするにはもったいないが、これに入ると吸い殻も好ましいものになる気がする。

～おわびと訂正～

ごみっぺらし通信第6号に誤りがありました。ここにお詫びして、次のように訂正いたします。申し訳ありませんでした。

●表・最下段「2026年までにごみ半減」→「2014年までにごみ半減」

生ごみ交流サロン開催

3月1日(月)

14:00-15:00

教育総合センター会議室1

「ごみっぺらし通信」はゼロ・ウェイストのボランティアスタッフによる広報紙です。

「ごみっぺらし通信」は、葉山町が進めるゼロ・ウェイストのボランティアスタッフ（通称「ごみへらし隊」）による町民目線の広報紙です。ただいま13名のメンバーですが、随時参加してくださる方を募集しています。お問い合わせ先：環境課（876-1111内線451）♪ごみっぺらし通信を町のホームページからご覧になれます。サイトはこちらから→http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/091104_info2.html